

# 福島教区報

教会数 114ヶ所  
布教所数 93ヶ所  
(R18.5月現在)

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号  
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404



## 全教「各」をいがけデー

### 身近な人へ御教えを伝えよう

「立教184年全教一斉にをいがけデー」が、9月28日〜30日の3日間を「ようぼく実動日」として実施された。今年

は新型コロナウイルス感染拡大のため、集団での活動が難しい地域は、ようぼく一人ひとりが「身近な人へのをいがけ」に取り組もうと呼びかけが行われた。

福島教区布教部（橋本忠知部長）では、各支部で状況に

応じて活動するように呼びかけ、本部布教部で作成した「辻立ち用フリップ」を各支部に配布した。

また、ようぼく・信者一人ひとりがをいがけに取り組みやすいように「TO YOU（あの人へ）プロジェクト」と題した活動を進めた。これは、チラシを参考に、誰にどのよう

に教えを伝えるかを考え、それをカードに記して教会に

### 感染拡大により

#### 行事の変更相次ぐ

福島県では、7月半ばから新型コロナウイルスの新規感染者が再び増加し、8月8日に「まん延防止等重点措置」がいわき市に発令された（9月30日まで延長）。更に23日には郡山市に26日には福島市にも発令された（9月23日まで延長）。また、県全域には「非常事態宣言」が発出され、8日から31日まで（9月20日まで延長）不要不急の外出自粛等の要請が出された。

そのような中、8月18、19日に開催予定だった少年会「親子キャンプ」や9月5日の「天理教基礎講座」が中止や延期を余儀なくされた。

一方、日帰り開催に変更するなど感染拡大防止策を講じ、「まなびば」や「災害隊訓練」などの行事が開催された。

## 青年会

## 「東北ブロック大会」秋田」に

## 会員8名参加

7月3日(土)「東北ブロック大会」が秋田教区青年会主催で開催された。今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、初の試みである、オンラインでの開催となった。

福島教区青年会(牛坂直之委員長)では、青年会員8名が教務支庁に集まり、夕づとめをつとめた後、20時〜22時の大会に参加した。秋田教区が用意した、「秋田青年会委員長の部屋」「子供の学力を伸ばす部屋」「私に出来る布教STYLE」 「不登校、引きこもりの子への寄り添い方を考える部屋」「日本の銘酒を語り合う部屋」「ザ、布教

師の部屋」「環境問題について考える部屋」など、11の部屋から、それぞれが気に入ったテーマを選択し、話し合いを行った。

その後、オンライン飲み会となった。秋田教区から送っていただいた各地方の名産品を食べながらの懇親会で、今までにない形の東北ブロック大会になったと思う。

秋田教区青年会では青年会長様御臨席総会を4年前に開催しており、「秋田青年会委員長の部屋」では、その時の話をいろいろと聞かせていただくことができ、来春に総会を迎えるにあたり、大変参考になった。

(N・U)

道の  
教職員の集い

## 「道の教職員 夏の集い」が

## オンラインで開催

8月7日、「第63回 道の教職員夏の集い」が初のオンラインで開催され、全国各地から220名の申込があった。福島教区からは2名が申し込みをした。当初は、おちばに集まれる人は集まり、そうでない方はオンラインでという形で開催予定だったが、コロナウイルス感染が再び拡大したことから、オンラインのみの開催となった。

松村登美和・布教部長が開会のあいさつをした後、

西浦忠一本部長が「丹精に必要な心と言葉と行い」と題して特別講演を行った。真柱様の年頭あいさつの中の丹精についてのお言葉を

引きながら、人を育てる上で重要なポイントをお話下さった。

続いて映像作家の早瀬憲太郎氏(教会本部ようぼく)が、「挑戦の先にあるものを目指して」と題して、手話を用いて教育講演を行った。早瀬氏は、ろう者が映画監督として映画を作る際の苦労などを話し、「共生」という言葉が無くなり、障害の有無に関わらず共に生きる事が当たり前になってほしいと結んだ。

なお、当日は、残り僅かなところで通信障害が発生し、最後まで視聴できなくなったため、後日、録画動画が改めて限定公開された。

(Z・F)

## 基礎講座

### いわき支部会場に24名参加

7月18日、「天  
き駅前のレストランで開催予定  
理教基礎講座」だったが、コロナ禍の中、  
(いわき支部会  
場)が開催され、  
磐城平大教会に会場が変更  
された。  
生江一行講師の下、ビデオ  
講義を通して、天理教  
の教えが初めての方にも分  
かりやすく紹介された。受  
講者の方は「良いお話でし  
た」と喜んで帰っていきま  
した。



基礎講座は天理教を知ら  
ない人に分かりやすく教え  
を伝える講座です。信仰さ  
れている方も喜んで受講さ  
れています。皆さん、声を  
掛け合って基礎講座に足を  
運んでください。(K・K)

9月5日開催予定だった、「天理教基礎講座(福島  
支部会場)」は11月28日に、同日開催予定だった会  
津支部会場は来年度に延期となりました。

## 青年会

### 「教会整備ひのきしん」に8名参加

福島教区青年  
会(牛坂直之委  
員長)では、7  
月30日、喜多方  
市分教会で「教会整備ひの  
きしん」を行い、8名(内、  
青年会員6名)が参加した。  
教区青年会では、来年4  
月の教区青年会総会へ向け  
て伏せ込みと会員相互の親  
睦を深めようと、コロナ禍  
の中でもできる教区内での  
ひのきしんを推進してい  
る。その中、喜多方市分教  
会でひのきしんをさせてい  
ただけなこととなった。



参加者は、教会内の襖の  
張り替えや、神饌棚の修繕、  
植木の剪定などを手分けし  
て行った。参加者のひのき  
しん意識も高く、予定して  
いた作業が早く終わると、  
「何かやることはないです  
か」と尋ねるくらい勇んで  
作業をした。

教会の方々のお世話取り  
のお陰で楽しく勇んでひの  
きしんが行えたことを感謝  
しております。(N・U)

道の  
教職員の集い

## 「総会」「成人塾」を開催

福島教区道の  
教職員の集い  
(古川善一代表  
世話人)では、  
7月11日、今年度の「総会」  
をオンラインで開催、2名  
が参加した。

昨年度の活動報告や決算、今年度の活動計画や予算等を審議したのち、一旦オフラインにして、それぞれに天理の教えチャンネル「不登校I・II」を視聴、再びオンラインでねりあいをもった。「不登校で悩む方に会った時、家庭の方に元気になってもらうことが大切だと言われたことが印象的だった。」「おたすけに臨む際に、不登校支援等をする社会的リソースを把握しておくことは大切だ。」という話が出た。

また、8月3日には「成人塾」を會津平分教会で開催、児童生徒2名が参加した。コロナ禍のため、昨年

と同様に、日帰り開催とし、密になるのを避けるために、会津、中通り、浜通りそれぞれに開催することで、各会場の参加人数を減らすことを狙った。

当初10時から開会の予定だったが、参加者の都合により11時30分から16時までに変更。神様のお話を聞いた後、昼食をいただき、12時30分から学習の時間となった。約3時間、適宜休憩をとりながら真剣に学習に取り組んだ。

なお、11日の福島会場、19日のいわき会場は参加者がなかった。

(Z・F)

## 学生会

## 「まなびば」を開催

福島教区学生担当委員会(杉澤元和委員長)では、8月19日、高校生の集い

「まなびば」を開催、2名が参加した。当初はいわき海浜自然の家で1泊2日で開催予定だったが、いわき市に「まん延防止等重点措置」が適用されたことにより、磐城平大教会での日帰り開催に変更された。

開講では平澤教区長にあいさついただき、おつとめの大切さをお話しいただいた。またグループタイムでは、かしのかりものの理に焦点をあて、スゴロクや身体を動かしながらのエクササイズで教えるを学んだ。講話ではひのきしんについて、「人の身になってつとめることが大切で、先ずは動きましょう!」との話を聞かせていただいた。(M・S)



# 災救隊

## 「教区訓練」に25名参加

災害救援ひのきしん隊 福島教区隊（生江一行隊長）では、8月29日、30日、今年度の教区訓練を開催した。福島県に「まん延防止等重点措置」が適用中のため、29日の教務支庁の草刈り・除草剤散布は幹部・青年会員のみに、本部主事の出向も無しに変更された。

30日は予定通り、二本松市営あだたら高原野営場にて草刈りが行われた。現地集合した隊員は、9時に結隊式を行った後、作業を開始。30

度を超す曇り空の下、隊員は黙々と作業を続け、広大な敷地に生い茂った草はきれいに刈られていった。午後には刈った草を集め、捨てるまでに行い、管理者の方に大変喜ばれた。

なお、訓練に先立って、6名の隊員が「刈払機取扱作業安全衛生教育」を受講し、「刈払機取扱作業者の認定を得ており、コロナウイルス感染拡大防止と安全に留意して訓練が行われた。

(K・N)



9月19日、教区総出ひのきしんが教務支庁で開催され、43名が参加した。日差しに夏の名残を感じながら、植木剪定や除草にと心地よい汗を流した。

## 教区総出ひのきしん





天理教福島教区青年会

# 青年会長様 御臨席総会

立教185年(令和4年)4月30日(土)

時間：10時30分より執行

場所：天理教福島教務支庁

内容：おつとめ・記念式典

## 教区制度120周年

明治35年に教区制度が  
制定されてより120年の  
節目を迎えます。

この時句に記念総会を  
開催し、県内に繋がる  
次代を担う若者たちと

「世界たすけ」へ向か  
って一手一つに更なる  
成人への道へ進みまし  
ょう！

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索！

[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)